

決算報告

平成25年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が市議会で認定されました。羽島市の決算状況についてお知らせします。

■問い合わせ先 総務課（内線2355）

平成25年度 会計別歳入歳出決算

会計別	歳入(収入済額)	歳出(支出済額)	
一般会計	211億2,486万円	200億2,175万円	
特別会計	国民健康保険	79億4,157万円	74億3,179万円
	介護保険	38億9,619万円	38億3,486万円
	簡易水道事業	417万円	325万円
	下水道事業	22億5,045万円	21億5,806万円
	羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業	2,538万円	2,538万円
	インター北土地区画整理事業	2億5,664万円	2億2,347万円
	駅北本郷土地区画整理事業	4億8,737万円	4億3,069万円
	後期高齢者医療	5億4,180万円	5億3,034万円
企業会計	病院事業	55億9,527万円	60億7,346万円
	収益的収支	5,390万円	2億8,778万円
	資本的収支	6億5,518万円	4億3,572万円
	上水道事業	8,544万円	4億3,438万円
合計	429億1,822万円	418億9,093万円	

一般会計 歳入

歳入全体の決算額は211億2,486万円で、前年度と比べて8億4,354万円、4.2%上昇しました。歳入には、地方公共団体が自主的に収入することができ、市税や手数料などの自主財源と、国や県から交付される依存財源があります。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できます。25年度の歳入決算額は前年度より0.3ポイント高い53.6%となりました。内訳を見ると、依存財源である国庫支出金が増加したものの、自主財源である繰越金の増加により、自主財源比率は前年と同程度となっています。

歳出

歳出の決算額は200億2,175万円で、前年度と比べて11億8,752万円、6.3%の増加となりました。歳出を目的別に見てみると、保健医療や福祉などの民生費が最も比率が高く34.2%を占めています。前年度と比べると9億8,800万円減少しています。次いで総務費が15.7%、土木費が10.2%を占めています。借金の返済額である公債費は、5年連続で減少しており、前年度と比べて2億1,371万円減少しています。

市民一人当たりの負担状況

市民一人当たりの市税の負担は、12万4,863円で、前年度と比べて393円の負担増となっています。過去5年間の推移は下記のとおりです。

市債の現在高は減少

25年度普通会計決算での市債現在高（借金の残高）は、約168億円となりました。市債現在高は、平成15年度をピークに減少しており、26年度決算も減少する見込みです。

特別会計

特別会計のうち、介護保険は、前年度と比べて歳出が介護費負担の増などから3億5,839万円（10.3%）増加。下水道事業においても前年度より3億8,193万円（21.5%）増加しました。簡易水道事業は、桑原町西小敷地区での水道供給事業によるものです。

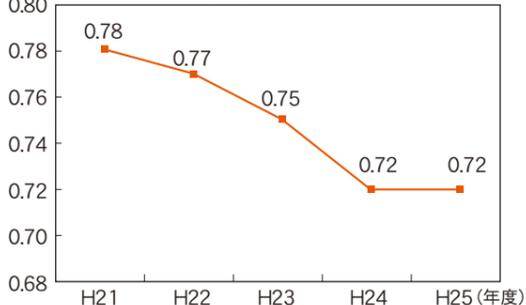
企業会計

企業会計は、公共の福祉の増進を目的として独立採算で運営されている事業の会計で、羽島市は病院事業と上水道事業の二つがあります。

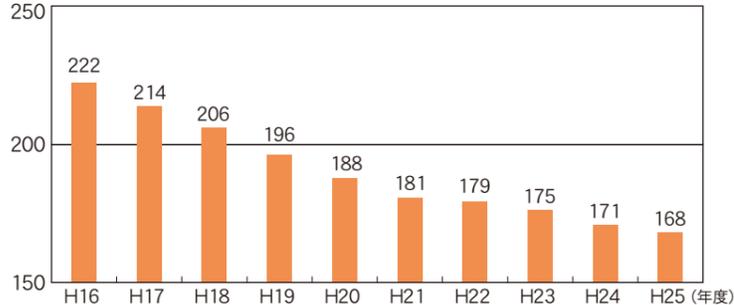
財政力指数

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数です。標準的に徴収が見込まれる税収入額を、行政サービス・施設の維持等を行うための需要額で割って得た数値の過去3年間の平均で算定します。この指数が高いほど、財源に余裕があるといえます。財政力指数の過去5年間の推移は下表のとおりです。

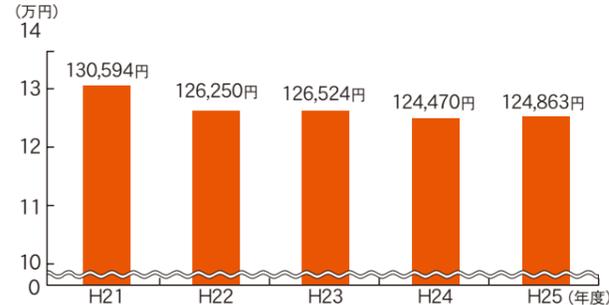
財政力指数の推移



市債現在高の推移（普通会計）



市民一人当たりの市税負担額の推移



一般会計推移

